

教育と研究

《振り返れば30年》

「ものづくりや工学が日本を支え、発展させてきたのではなかったのか？」と喪失感を感じたのは、日本の名目GDPと平均賃金が、この30年間ほとんど増えていないデータを見たときでした。技術革新や新産業の創出を怠ってきたことが理由でしょうか。

私は教育と研究に邁進してきましたが、はや30年が経ちました。2021年内閣府調査によると、大学入学者に占める理工系分野入学者の割合は、理学が2.1%、工学が11.5%でした。そして、入学者に占める女性比率は、理学分野が30.2%、工学分野が15.2%とOECD加盟国中最低でした。

技術立国復権、日本の未来のために、何かできることは無いのでしょうか？ 皆さんとお話できれば幸いです。

2024年 **4月25日** (木)
13:30~14:30

- 会場 WEB会議Zoom ※お申込後 招待URLをお知らせ
- 定員 なし(入退場自由)
- 参加費 無料

プログラム

- ①講師のお話
 - ・教育と研究
 - ・工科短期大学の概要
課題 (STEM人材がいない, など)
 - ・セカンドライフについて etc
- ②質問タイム

＜第17回ゲスト＞

尾和智信氏



長野県工科短期大学校
博士 (工学) 副校長

講師略歴

愛知県名古屋市出身

- 1996年 長野県工科短期大学校 講師
- 2004年 名古屋大学大学院工学研究科博士課程 (後期) 修了
- 2014年 長野県工科短期大学校 教授
- 2021年からは副校長として、工科短大のブランディング、カリキュラム改革、産官学連携、研究力向上などに取り組む。

お申込み: 申込フォーム 又は 下記のホームページよりお申込みください。
<https://forms.gle/Rz6dcGvSccRoyfcX9>



お問合せ: 東信州次世代イノベーションセンター
一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター (AREC) 事務局
Tel 0268-21-4377 / Fax 0268-21-4382 Mail mousikomi@arecplaza.jp